

第 97 回沖縄県メーデー中央式典 メーデー宣言（案）

本日、私たちは第 97 回沖縄県メーデー中央式典を開催した。1920 年に第 1 回メーデーを開催して以来、私たちは、労働者の地位や労働条件の向上にとどまらず、人権や労働基本権の確立、民主主義の発展、恒久平和の実現を訴えてきた。

東日本大震災から 15 年、熊本地震から 10 年、能登半島地震から 2 年が経過した。改めて犠牲になられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、いまだ避難生活を続けておられる方々に、心よりお見舞いを申し上げる。地震への備えはもとより、激甚化・頻発化する気象災害に対する防災・減災の取り組みを一層強化するとともに、支え合い・助け合いの輪を広げていく。

国際社会では、国連を中心とする秩序や国連憲章が蔑ろにされ、多国間主義や国際協調が揺らぎ、自国の利益だけを優先する動きが強まる中で、対立と分断が進んでいる。ミャンマーやウクライナ、中東をはじめとする各地では紛争や軍拡が続き、民主主義や人権が脅かされる状況も深刻化している。私たちは、「対話による平和と真の民主主義なくして労働運動なし」を深く胸に刻み、核兵器の廃絶と恒久平和の実現をめざし、世界の働く仲間と連帯して平和運動を力強く進めていく。

私たちは、すべての働く者のくらしの向上にこだわり、2026 春季生活闘争を展開している。物価高により実質賃金は低迷し、格差も拡大している。労務費を含む適切な価格転嫁と適正取引を実現し、持続的な賃上げと格差是正を実現しなければならない。

「働き方改革」の見直しが議論されている。過労死等が依然としてなくなる実態をふまえば、長時間労働の是正、労働時間の上限規制の強化こそが求められている。長時間労働を助長しかねない制度の拡充・緩和は認められない。働く者のための真の働き方改革の実現に向けて、引き続き強力に取り組んでいく。

私たちは、平和と人権が尊重され、多様性を認め合い、すべての働く仲間が笑顔で安心して働き、くらせる社会の実現に向け、集団的労使関係を強化・構築するとともに、働く者・生活者を優先する政策の実現を求める。

今こそ、連帯の力によって、誰一人取り残されることのない社会を築いていこう！

対話と連帯で築く、平和で笑顔あふれる未来
真の働き方改革で、安心してくらせる社会を！

以上、ここに宣言する。

2026 年 4 月 24 日
第 97 回沖縄県メーデー中央式典